

平成 30(2018)年度第 2 回学校給食共同調理場運営委員会 会議概要

1 日時 平成 31(2019)年 3 月 14 日(木) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分

2 会場 柏崎市中央地区学校給食共同調理場 会議室

3 運営委員

学校給食共同調理場運営委員 10 名 (敬称略)

斎喜 和彦【会長】(田尻小校長)	太平 敏夫【副会長】(北条中校長)
近藤 隆司(剣野小校長)	駒野 峰子(瑞穂中 P T A 副会長)
田邊 正樹(半田小 P T A 会長)	雫川 孝志(鯖石小 P T A 会長)
村山 良一(東中学校 P T A 会長)	丸山 高央(新道小 P T A 会長)
永瀬 吉彦(柏崎保健所長)	藤田 庸子(新潟県栄養士会)

【欠席者：永瀬(柏崎保健所長)】

※委員 10 名のうち過半数出席により成立

4 事務局

教育総務課 4 名

学校給食係 松崎係長 品田主任 田村主事 湯本非常勤

共同調理場栄養士 12 名 ※()は調理場名

高野(中央) 大森(中央) 近藤(南部) 長束(西部) 遠山(鯖石) 今井(中央第 2)
近藤(北部) 井比(北部) 星(北条) 神林(高柳) 阿部(枇杷島) 米山(西山)

5 報告事項

- (1) 平成 30(2018)年度学校給食事業の運営概要について
- (2) 平成 30(2018)年度学校給食の実施概要について
 - ① 共同調理場の食数及び人員配置の概要
 - ② 栄養摂取状況
 - ③ 年間 1 食単価の実施状況
- (3) 平成 30(2018)年度栄養教諭等による食育の取組について

6 議題

- (1) 平成 31(2019)年度学校給食共同調理場の稼働日について(案)
- (2) 平成 31(2019)年度学校給食費について(案)
- (3) 平成 31(2019)年度各共同調理場の学校給食会計予算について(案)

- (4) 平成 31(2019)年度物資購入業者の指定及び調達品目について(案)
- (5) 学校給食費取扱要領の改訂について(案)
- (6) 平成 31(2019)年度当初予算(経常費・事業費)について(案)
- (7) 柏崎市の学校給食評価アンケートについて

【 議題の内容について審議を受け、すべて承認 】

7 質問事項

- Q 柏崎市の学校給食では保護者の試食会は実施しているのか。
- A PTA や学校の要望に応じて実施している。

- Q 朝食についての取組みに興味がある。積極的に朝食問題に取り組んでいる調理場はあるか。
- A 南部調理場では、食に対するアンケートで結果の良くなかった朝食について取り組んでいる。手軽な朝食メニューを紹介することで保護者へ向けた発信をしている。

8 共同調理場栄養士から平成 30(2018)年度の取組と、児童生徒の様子

(中央調理場)

毎月「栄養の日」を設定し、栄養素をひとつずつ紹介した。給食週間では「お米のよさを知って味わおう」と題して、ご飯が活きる献立を作成。自分に合った量を食べる意識が高まり、結果として残量が少なかった。

(南部調理場)

お手軽朝食と噛む料理のレシピを紹介した。中学校では災害時の食に関する活動を実施した結果、平常時からの備えの重要性を学んだ。

(西部調理場)

給食週間では「平成の出来事」と題し、平成の大きな出来事に関連する献立を作成した。委員会活動を通して残食ゼロ運動を実施した結果、一口なら頑張れるといった意欲をもつ児童が増えた。

(鯖石調理場)

本に出てくる料理を献立にした。児童が育てた作物を給食で提供し、給食時間に栽培の苦勞を発表して達成感を感じることができた。

(中央第2調理場)

生徒が個々に見合った主食量を求めて給食で体験。家庭での主食量との違いに驚き、適量の主食への意識が高まった。

(北部調理場)

委員会活動で食べ切りチャレンジ運動を実施した結果、残食ゼロの日が増えた。

(北条調理場)

「苦手なものもおいしく食べよう」と題し献立等を工夫することで、児童生徒から「意外と食べられた」と感想を言っていた。

(高柳調理場)

児童が栽培した野菜や、地域の食材で調理実習を実施した。食べ物への興味関心が高まり、大切に作る気持ちや地域への愛着が高まった。

(枇杷島調理場)

減塩の意識と和食への興味を高めるため「WASYOKU 給食」を毎月提供した。中学校で1尾の魚をさばく授業を実施した結果、魚への興味が深まった。

(西山調理場)

食べ方やマナーの見直しを実施した。マナーを意識する生徒が増え、調理員に対して感謝を表す生徒も増えた。